信頼は未来を豊かにする

青木被服株式会社

715-0006　岡山県井原市西江原町501
https://www.aokihifuku.co.jp/　0866-62-1105

在籍する職種　デザイナー / パタンナー / 営業 / 生産管理
事務 / 縫製 /裁断

多角化の歴史の中で培ってきた職人技術を生かして。

青木被服は、「日本のデニム生地の聖地」と呼ばれる井原市で、1961年にデニム製品やユニフォームを受注生産する会社として創業しました。生地から製品までを産地内で行える環境を作りたいとの思いから始めたといいます。そして、1970年代には、デニム生地の生産が活況に呈したことに伴い、子供や婦人向けジーンズのOEM生産に注力しました。

2010年、デザイナーである青木俊樹氏の入社と同時に、自社ブランド「FAGASSENT / ファガッセン」を立ち上げ、パリ、ミラノにてメンズコレクションの発表を開始しました。2016年には井原デニムを着物におとし込んだ粋な大人のデニム着物ブランド「DENIM KIMONO」の開発チームを設置するなど、デニム産地ならではの上質な素材を生かした製品展開をしています。いずれも大量生産・大量販売型ではなく、多角化の歴史の中で培ってきた自社工場の職人技術を生かし、高付加価値商品を提供するデニムブランドを目指しています。

ジーンズをはじめ、デニム着物やマスクに至るまで、織物産地井原の上質な素材を使ってこだわりの製品づくりをしています。中でも足袋型パンプス【tabiRela　MARY】は、足袋メーカーとのコラボ商品。ヨーロッパメゾンにも評価が高い極上デニムとレザーを使用。地下足袋製法で作られ、適度に伸びるアッパー素材と踵に内蔵されたクッション材によって軽やかにラクに歩けます。